

■ 公共の場で公衆無線 LAN を利用するときは、電子メール(Eメール)通信を暗号化

ご利用の電子メールサービスがSSLに対応している場合には、メールソフトを設定することで、メールソフトとメールサーバー間の通信を暗号化できます。GmailなどWebメールも通信が暗号化されています。SSLにより暗号化することによって、万が一、無線LANでの通信が傍受されても、電子メールの内容やパスワードなどが知られることを防ぐことができますので、積極的に利用しましょう。メール設定方法については、契約している各プロバイダーのマニュアルなどをご確認ください。

■ 公共の場で公衆無線 LAN を利用するときは、ファイル共有機能を解除

パソコンのOS(基本ソフト)やスマートフォンのアプリケーションには、自分の端末に保存されているファイルを、ネットワークを経由して他のユーザと共有することができる「**ファイル共有機能**」※があります。

このファイル共有機能が、公共の場で無線LANを利用するときに有効になっていると、

他人からパソコンやスマートフォンに保存してあるファイルを読み取られたり、

不正なファイル(コンピュータウイルスなど)を送り込まれたりすることがあります。


このような危険を回避するために、ファイル共有機能の利用は家庭や職場のLANに接続する場合に限るようにし、公共の場では解除しましょう。

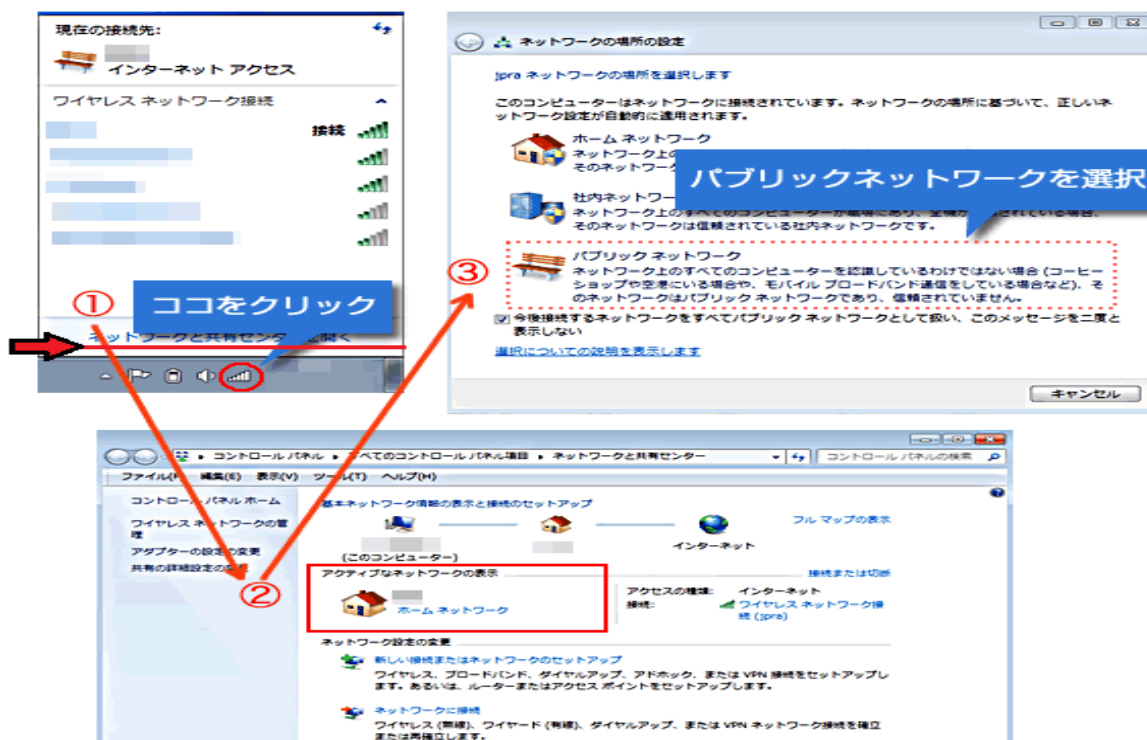
※ スマートフォンは、OSによるファイル共有機能を有しませんが、アプリケーションによりファイルを共有することが可能です。公共の場での無線LAN接続時には、ファイル共有アプリケーションを終了しましょう。

<ファイル共有機能の解除の手順>

ここでは、OSがWindows 7の場合での方法を簡単に紹介します。

機能解除の詳細及び、他のOSの設定方法については、マニュアルなどをご確認ください。

- 無線LANに接続した上で、画面右下に表示されるマークをクリック
- 「ネットワークと共有センターを開く」を選択 
- 「アクティブなネットワークの表示」で「パブリックネットワーク」を選び、ファイル共有機能を解除



◆ 公衆無線LANを利用する際は、通信の暗号化に楽観視せず、ID・パスワード等のログイン情報、クレジットカード番号やセキュリティコード、暗証番号の入力やネットバンキング等の利用は避けましょう！